周南市須金地区において、山口型放牧を開始

柳井農林事務所畜産部
平成23年７月８日

周南市では、農家の高齢化や離農の増加により耕作放棄地が拡大しています。それに伴い、耕作放棄地を住処とするイノシシやサル等の野生動物が農作物を食い荒らす被害が大きな問題となっています。

そこで、市は「水田・畑等の農地に隣接する耕作放棄地について山口型放牧を行うことにより雑草をきれいに食べさせ、農地と野生動物の間に緩衝帯を設置する対策」を平成21年度から開始しました。

今年度は、長年特産物の梨やぶどう等で大きな被害が発生している須金地区において放牧を行うこととなり、当部では取組を支援するため、農林総合技術センター畜産技術部に協力を要請し、７月１日（金）に畜産技術部の所有するレンタカウ２頭を現地に導入しました。

導入された２頭は、７月下旬まで同地区で放牧される予定となっています。

雑草をおいしそうに食べています

新鮮な山水を引いてあります